



飯野小学校だより

2022(令和4)年7月15日(金) No.11

ねんせい しょくいく 6年生、食育がありました



7月11日(月)に6年生が、食育の授業をしました。各クラスごとに前田栄養教諭が授業をしました。今回は、「感謝して食べよう」をめあてに学習しました。

まず、松阪市立天白小学校の6年生が作った「松阪牛物語」の版画絵本の読み聞かせをしてみました。兵庫県で生まれた一頭の子牛が松阪に運ばれ、大切に育てられ、松阪牛として食肉にな

るまでのお話です。牛の目線と育てる畜産農家の方の目線からの思いを綴っています。

そのあと、何に感謝して食べるのか、実際の給食の献立をもとに考えました。野菜や米を育てる農家の方、魚を獲ってくる漁師さん、給食を作ってくれる調理員さん、食べ物を持って運んでくれる運転手さん、そのほかにもたくさんの方々によって毎日の給食やおうちのごはんが食べられることを改めて考える時間になりました。

「いただきます。」の意味を再確認できたことと思います。



「松阪牛物語」の版画絵本をご覧になりたい方は、一般社団法人三重県畜産協会が運営している「三重の畜産広場」のホームページの「畜産を見よう!ふれあおう!」のコーナーにありますのでそちらをご覧ください。

「松阪牛物語」で検索しても表示されます。

ねんせい しょくいく 5年生も、食育がありました

7月14日(木)に5年生が、食育の授業をしました。
今回も前田栄養教諭が授業をしました。今回は、「お米
について知ろう」をめあてに学習しました。

5年生は、社会科「米作りのさかんな地域」の単元で
お米についての学習をしています。

まず、食品表示の内容からお米が使われている食べ
物について考えました。「あられ」と「せんべい」の違い

は、お米の種類がちがうことや給食で食べているご飯だけでなく、おかずを作る調味料にも
たくさん使われていることがわかりました。

次に、伝統的な行事のときや特別な日にお米
を使った食べ物が食べられてきたことを確かめ
ていきました。

最後に、お米の生産農家さんの米作りに対す
る思いを語った動画を見ました。苦労すること、
作る喜びなど、短い動画でしたが思いを確
かめることができました。

1学期の給食も終わりますが、これからも残さず、きれいに食べてほしいと思います。

なが 長きにわたり、ありがとうございました

飯野小学校の東門(給食センター跡地)で毎朝、子どもたちの登校時の見守りボランテ
ィアをしていただいていた黒田千恵さんが、1学期いっぱいでご勇退されることになりまし
た。

飯野地区の民生委員・児童委員を3年務められ、同時に、見守りボランティアをして
いただくようになったそうです。それから、12年間、お世話になりました。

これから、東門の風景がさみしくなりますが、これまでと同じように交通
安全にころがけて登校しましょう。

本当にありがとうございました。

